

KORIYAMA WEEKLY REPORT 2021-2022

ROTARY CLUB

国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992) <http://k-rc.main.jp/>

Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第15回 2021年12月2日

国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
ロータリーの目的 四つのテスト唱和

ロータリー情報委員長 高橋裕一君



幹事報告

例会変更のお知らせが各テーブルにあります。
宜しくお願い致します。

阿部充宏 幹事



会長挨拶

福島佳之 会長

皆さん、こんにちは。本日お出で頂いたのは東北アルフレッサ(株)経営企画部グループ長の池田竜一郎様です。後ほど卓話を頂戴したいと思います。12月第一例会日ということで、先ほどまで役員理事会を開催させて頂きました。



12月23日の例会時に於いて、郡山RCの細則に則りまして年次総会を開催させて頂きたいと思っております。当日は佐藤尚宏エレクト年度の役員理事の承認という大事な議案がございます。1月度は職業奉仕月間ということで、例年通り職場訪問を開催しますが、笹の川酒造に赴いて、そこで工場見学とウイスキー等の話を聞いて試飲させて頂きます。12月は疾病予防と治療月間です。折しも全世界でオミクロン株が猛威を奮って、今後我々の活動もどういう風に変異していくか分からない部分もありますが、皆様の安心・安全な例会設営をして行きたいと思っております。RCのHPIによりますと様々な施策をRCもとっているようで、とある地区のガバナーがコロナウイルスに打ち勝つための三原則を投稿されておりました。その考え方は三つのシンプルな原則に基づいている。一つが個人の衛生習慣、ソーシャルディスタンス、ガイドラインを守る。一人一人がみんな責任を持つということが必要だ。第二に感染曲線を平らにするには、政府の取り組みをサポートすること。これには公共機関や開発団体、民間セクター、社会全体が一体となって脅威を食い止める。三つ目が希望のメッセージを人々に伝えつつ、みんなで力を合わせてこの難局を乗り越えなければならない」ということです。我々ロータリアンとしては今の三つの内の第一と第三は肝に銘じて設営をして、脅威に打ち勝つためにみんなで力を合わせましょう、第二に関しては医療関係に携わる方々のご努力は今も大変であろうし、オミクロン株が猛威を奮えば更に大変なことになると思います。

親睦活動委員会報告

二瓶健一 委員長

12月誕生日祝い

14日/柿木田修君 15日/遠藤喜志雄君
16日/山口 仁君 24日/佐藤文和君



12月結婚記念日祝い

1日/福内浩明君 2日/滝田金之介君
5日/渡邊邦浩君、鈴木淳策君
12日/阿部英二君
15日/小田修史君、佐藤尚宏君(銀婚)
22日/今泉正規君
24日/幕田宙晃君、田島茂樹君

12月16日にクリスマス家族会を予定させて頂いております。多くの皆様のご協賛を是非宜しくお願い致します。ご協賛頂ける方は、事前に私か事務局の高梨さんか横山副委員長にご連絡頂けると大変助かります。12月9日が登録締め切りですので、多くのメンバーの皆様のご参加をお待ちしております。

ニコニコBOX委員会報告

宮川卓也 副委員長

- ◎東北アルフレッサ 池田様の卓話を楽しみにしております。 福島佳之君、阿部充宏君
- ◎池田さん、ご無沙汰しておりました。お元気にご活躍、流石でございます。卓話、楽しみにしております。 大木勝浩君
- ◎東北アルフレッサ 池田様の卓話を楽しみにしております。 山口松之進君、前田泰彦君、青木 誠君
- ◎先日の麻雀大会はお世話になりました。12/16のクリスマス家族会も宜しくお願い致します! 二瓶健一君
- ◎タイヤの交換はお早目に。 菅野秀士君
- ◎久しぶりです。又、宜しくお願い致します。 宮川卓也君



プログラム委員会報告・ プログラム紹介

山口松之進 委員長

本日は東北アルフレッサの池田様、来週は星北斗先生から卓話を頂きます。そしてクリスマス家族会、年次総会で今年は終わりになります。年が明けまして6日に新年会、13日は郡山JCの理事長久保田くんの卓話、20日は初瀬さんに卓話を



頂きます。27日は職場訪問で笹の川酒造さんに訪問をしていくというプログラムになります。それでは今日の講師をご紹介します。東北アルフレッサ(株)経営企画部経営企画グループ長の池田竜一郎様です。池田さんは2001年にコーワ薬品入社、その後アルフレッサのホールディングスにも出向されて合併の準備をされて、2018年企業統合ということで東北アルフレッサ(株)ということになられたそうです。池田様、宜しくお願い致します。

ゲスト卓話

「東北アフレッサ郡山物流センターについて」

東北アフレッサ(株)

経営企画部 経営企画グループ

池田竜一郎氏



当社は東北アフレッサ(株)と申しまして、設立して3年になります。手前どもは医療用医薬品を中心に卸売事業をさせて頂いております。売上は1,600億円で従業員が約950名です。皆様方には(株)コーワ薬品の方が馴染みがあるのかなと思っております。アフレッサという全国グループでの卸事業会社がありまして、郡山を本社とする東北コーワ薬品と、岩手県の花巻市に本社がありました(株)オダシマの二社が合併をしまして、東北アフレッサ(株)という会社を設立致しました。

我々の親会社になりますアフレッサホールディングスという会社があります。東京に本社を置きまして、売上規模は2兆6,000億、従業員は14,000名という規模の企業です。我々医療用医薬品の卸売事業の業態をご説明させて頂きますと、我々の立ち位置と致しましては製薬企業・製造メーカーから医療用医薬品を中心に仕入れをし、病院・診療所・薬局に対して卸売りをさせて頂いています。東北アフレッサ(株)の物流体制と致しましては、東北六県を商圏としておりまして物流センターは二カ所あります。郡山物流センターと岩手県花巻にあります花巻物流センターがあります。

郡山物流センターは国道49号線沿いの東洋健康センター跡地に、昨年の9月末に稼働を致しました。この物流センターには医薬品の品目で言うと27,000アイテムの品目が所狭しと並び、コンベア等を使って東北六県に出荷をしています。物流センターは3階建てで、1・2階が倉庫、3階が郡山支店を始めとした事務所フロアになります。この物流センターを建設するに当たりまして我々が重きを置いたポイントは3点あります。まずは効率性の追求。より高度な管理をして世の中の色々な医薬品に対応していくということも求められてきます。それから何と言っても災害対策になります。3.11の東日本大震災を経験したところを教訓に、色々な機能を盛り込んでどんなことがあっても医薬品の流通は止めないということをコンセプトにこの物流センターを建設しました。まずは効率性の追求ということですが、極力人の手を省かして自動倉庫によって商品を管理するということをしております。仕入れた商品を自動的に倉庫に機械が納め、出庫をする時も機械が自動で出して来る、もう一つ効率化の追求ということで、人手を省く為にメーカーから入荷した商品についてはラベルを自動で読み、どの商品がいつどのくらい入ったというのを読み込んで、これが自動倉庫に流れ自動的に倉庫に納められる仕組みになっております。次に高度化への対応ということで、我々は医薬品の厳密な管理をしておりますので、この倉庫

内に極力外気に触れないような形で害虫や塵や埃も入らないような仕組みを色々取り組んでおります。まずトラックがつけるところがドックシェルターと言われるものを付けたり、実際に配送する軽貨物がつけるところには二重シャッターを用いて、片方が開いている時はもう片方は開かない。これによりまして室内の温度も常時管理しています。温度管理につきましては中央監視システムを設け、倉庫内全てを一元管理して、併せてセキュリティについても一元管理をしています。我々向精神薬等、非常に厳重な法で規制されている薬も沢山扱いますので、鍵のついているロッカーのようなもので取り出す際には誰がいつ何を取り出したかというのを記録に残るような形で厳重に管理をしています。温度帯もマイナス150度以下で保存しなければならないものですか、今の新型コロナワクチン等は非常に低温での保存が必要になってくる商品もあります。そういった高度な医薬品にも対応できるように、液体窒素室を設け150度以下であるとか、超低温フリーザーはマイナス80度までの温度管理ができるような部屋も設けてまして医薬品を管理しています。3.11の東日本大震災を経験した会社としましては、そこで得た教訓を全てここにつぎ込もうということでも色々な対策を施しています。一つ目は建物の屋上にヘリポートを設置致しました。例えば関東の方で震災が起きた場合にはこちらからでも医薬品を供給できるように、もう一つの災害対策は敷地内に自家給油スタンドを設けております。こちらは東日本大震災時に、やはり我々は医薬品を供給するに当たって、どうしてもある程度の量を運びますので車を使わなければならない。その燃料を確保するのに非常に苦労したという経験の下、敷地内に自家給油所を設けてまして営業車・トラック等に燃料がいつでも供給できるような形をとっております。タンクサイズは30klでガソリンと軽油を入れております。非常用発電機は大きな発電機なのですが、軽油を燃料としており満タン状態で72時間連続で非常用の電源を確保しております。我々のモットーとしております地域の皆様の健康と笑顔の為に、どんな時でも必要とされる医薬品をとにかく必ずお届けするということを使命として持っておりますので、引き続きこの郡山の皆様に対しまして貢献をして行きたいと考えておりますので、会社とども宜しくお願いします。

出席報告

横田重一 委員

総員/98名 出席/58名 欠席/40名

出席率/59.18% 前回修正率/55.81%

他クラブ出席/5名



次回 第17回例会
令和3年12月16日(木)

クリスマス家族会
郡山ビューホテルアネックス

有限会社 郡山銘菓庵

大黒屋

代表取締役社長 阿部 充正

〒963-8004 郡山市中町14-8

☎ 932-3517 FAX 931-0320

福島トヨタ自動車(株)

常務取締役 阿部 賢輔
郡山営業本部長

〒963-8026 郡山市並木3-1-18

☎ 955-6661 FAX 955-6712